

試験日 2022.9.15  
 天気 晴  
 測定条件 バギーに遮熱加工のカバー 座席に温度計  
 参加者 谷岡・日下野・稲見



試験時刻	試験場所	座席温度	座席湿度	屋内温度
13:30	屋内	28.1°C	56%	28°C
13:35	屋内	26.3°C	56%	
13:40	屋内	24.5°C	59%	

試験時刻	試験場所	座席温度	座席湿度	屋外温度
13:48	屋外南向き	30.2°C	64%	37.7°C
13:49	屋外南向き	31.3°C	62%	
13:51	屋外南向き	32.8°C	58%	
13:53	屋外南向き	33.1°C	54%	
13:54	屋外南向き	34.6°C	49%	
13:55	屋外南向き	35.2°C	49%	
13:58	屋外南向き	34.1°C	45%	
14:00	屋外南向き	36.1°C	45%	



試験時刻	試験場所	座席温度	座席湿度	屋外温度
14:05	屋外東向き	34.2°C	43%	35°C
14:10	屋外東向き	30.7°C	52%	
14:15	屋外東向き	28.9°C	60%	



試験時刻	試験場所	座席温度	体感温度	屋外温度
14:20	中に入った	29.7°C	暑くない	35°C
14:10	中に入った	32.6°C	暑くない	

まとめ

透明部分を太陽に向けるとバギー内室温が上昇してしまう。  
 透明部分を太陽から横向き（東）にすると温度が下がってきた。  
 このことから、透明部分の面積を小さくする事で屋外でも気温を下げられる事が期待出来る。  
 但し、視界とのバランスについては検討する必要がある。  
 また、実際に入ってみると温度の割に暑さは感じなかった。  
 首には冷えた空気が当たっているのので体感は27°C位？暑くはない。  
 機能としての一定の成果は出せているが実用化としてはまだまだ改良が必要。  
 バッテリー、冷媒関係装置の小型化は引き続き改良が必要。